

新体制アトムへ思うこと・・・

ネット掲載が匿名 (すいか組)

まず、私は面倒なことは嫌い、目立つの嫌い、と波風立てるのはとっても嫌いな人間です。でも、今のアトムはもっと嫌なので頑張ってみました。

私は、昨年の職員募集へ応募しようかと悩んだ程アトムが大好き！だった・・・

それが、アトム認可と共に入園し、二人の息子を担任してくれ担任としての関わりがなくなっても、いてくれるだけで安心できる存在の保育士の大半がつばさへ行ってしまうことになり、二男に対する保育面への影響より自分自身の精神面での支えを失う不安が大きい3月でした。

しかし、本来は超プラス思考の私「二年後の卒園時には新しい保育士にも同じように思える関係を今度は自分から作ってみよう！」と切り替え4月がスタートしました。

初めは新人さんは緊張・先輩達はプレッシャー・保護者も不安で少し違和感があっても、仕方がない時間が必要だと思っていました。そんな中、ある保護者から「最近のアトム嫌なところが目につく」と言われその時は聞き流していたけど、頭の中にアトムへの不満が次から次へと湧いてでてきました。それが今回の経緯です。

で担任と話しをし、別の日に岩ちゃん・あけみちゃんと話をすることに  
・朝の合同受け入れ時の対応

### 1. 座って職員達で話をしているのが目につく

→登園時の子供の様子を見れているのか、確実に子供が入室しているのを確認しているのか、日報にも書けていない連絡事項を聞き取れているのか。もう6月なのにいまだに子供の名前を呼んで子供に挨拶してくれない。(名前知らんの??)

### 2. 職員退社時の言動

→どこの会社でも緊急の残業が入って、急にお迎えが遅くなり夜間になる子供も多いなかで子供の前で時間だから帰ろうといわれると、仕事って時間になったら帰れるんやと理解されたら困る。(言いたい気持ちはわかるけど場所を選んでほしい)

### 3. 日報

→頑張ってくれてるのはわかるけど、その日の行事しか見えない。子供の具体的な様子・保育士の人柄が見えてこない。

と書いてしまえば短い内容を長々と話しを聞いてもらいました。その他いろんな話をして私は「わが子を自分の嫌いな場所に預けたくない、子供が好きな場所なら自分も好きな場所にしたい」と伝えると、アトムは「わが子を預けたい保育園を作りたい」気持ちは同じ。最後の出番は私たちという園長・副園長が言ってくれるのなら、何かあれば伝えよう！ひと回りも年下の保育士さんにも遠慮せず(笑)長男を担当してくれた保育士が言ってたな～「親の笑顔が子供の一番の宝物」てことは園では「保育士の笑顔が子供の一番の宝物」笑って怒って泣いて喧嘩して子供と共にあと2年楽しく大切に過ごしたいのでよろしくお願いします。

## 親だってアトムと共に

ネット掲載のみ (もも組・すいか組母)

「いっせいの〜で！」 「ヤギさ〜ん！！」

アトムから長い距離を歩いてヤギを見つけ、可愛い声をそろえて呼ぶ子ども達。目は好奇心でキラキラと輝き、早くヤギに近づきたくてウズウズ。

怖々ヤギに触り餌をあげた後は、気持ちいい川面の風を感じて、どの子どもはじけんばかりの笑顔。その顔を見ていると、私自身も自然と笑顔になり、肩に食い込むおんぶ紐さえ気にならなくなって、ついて来て良かったなあ、楽しいなあ、なんだか親子でアトムを楽しませてもらっているなあとしみじみ幸福な気分になりました。

昨年、育児休業中に、散歩だ、クッキングだ、誕生日会だ、と事ある毎にアトムの上の子を預けている組に下の子を連れて参加していた私。サンタやトトロに演出を加えて子ども達の想像力をかきたてる仕掛けをしたり、子ども達の小競り合いの言い分を両方からじっくり聞き思いを出させたり、何か分からない理由でギャーとなっている子どもに寄り添う保育士さんたち。その常に子どもを、子どもに良い保育をと考えてくれている姿を何度も見るにつけ、とても安心し、感謝していました。仕事に復帰した今もその体験があるためにとても安心して預けています。

そんな大好きなアトムだけれど、時にあれ？と思うこともあります。それが保育内容や子どもに対する対応であったりすることも。そんな時、言いやすい顔なじみの保育士さんが多い私でも、非常にナーバスになるのです。

今回、懇談会で、新人保育士の対応に疑問を抱いたので、ベテランの対応を見れる機会をつくること、逆にベテランも見守りノウハウを伝えていって欲しい等の発言をした際も、伝えるべきか、また誰に言えばいいのかとても考えました。傷つけるかもしれないし、うるさいことを言うと反感を貰うかもしれない。自分自身が自分の子どもの対応さえ苦慮しているのに保育園に求めすぎかとも考えましたが、やっぱりもやもやとしていました。

でも、昨年のアトム主催「保育内容を考える会」で、“保育を一緒に考えていこう”懇談会は何でも思ったことをいうためにある”といわれたので、アトムな

ら受け止めてくれるのではという思いもありました。

そして職種は違いますが、自分が新人時代は同世代しかいなくて色々な人の対応に苦慮し、勉強できる体制やフォロー体制があったらなぁと思ったことがありました。だから、きっとアトムでもそういうことが必要なのではないだろうかと考え、思い切って懇談の場で発言することにしたのです。

結果、私が言いたかった一つのフォロー等の体制というより子どもの対応についての話題が膨らみ、言いたいことを伝えるのは難しいなぁとも思いました。けれど、他の人から新人保育士の色々な柔軟な対応や色々な考え方を聞いてそれはそれで面白い懇談会でした。(因みに岩ちゃんが懇談で私の言わんことを汲み取り、後で個人的に聞いてくださっています)

そして、アトムの人たちはよく言ってくれたと受け止め、一緒に考えようとしてくれました。それを見てやっぱりアトムだ。迷ったけど言ってよかったと思いました。

私は別に自分の事がすべて正しいとは思っていません。そして自分のいったことを必ず実行して欲しいと思っているわけではありません。アトムはアトムなりに事情もあるし考え方もある。

ただ、子どもを思う気持ちは同じです。一日の半分以上を我が子が過ごす保育園という場を、全くのお任せだけでなく、一緒に考えていくというのは大事で、そして一緒に考えていけるということは素晴らしいことだと思います。せっかくアトムがそういう姿勢をみせてくれているのに、発言しないともったいない(笑)。

今回こういう話を書いているのも、実を言うと岩ちゃんが、事あるごとに皆に何でも言っていると発信しているつもりでも伝わっていなかったのではないかと、保護者の側から発信して欲しいと言われたことがきっかけです。

保育園という限られた期間ではあります。でも、アトムとどっぷり関わりながら、自分の子どものことを考え、多くの子ども達のことを考え、どうしていけば子ども達が幸福に過ごせるか。そのために保育士にどうして欲しいか、親達がどうすればいいのか。一緒に考えていろんな考え方を聞いて私は一緒に親としても成長していきたいと思っています。